

乾汽船株式会社

2018年3月期 報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

証券コード:9308

ごあいさつ

社長の乾康之でございます。

2018年度は「はじめての中期経営計画～今を生きる、明日を生きる～」の2年目となります。

中計1年目は、不況の海運や縮小傾向にある倉庫・運送事業などの厳しい経営環境を何とか凌ぎながら、明日の成長に繋げるために様々な施策に取り組んで参りました。

本年度も当社を取り巻く経営環境には先行き不透明さはありますが、我々は、価値ある独自性を発現することで、今を生き、明日を生きるために、成長に向けた自助努力を地道に続けて参ります。

ステークホルダーの皆様、これからも乾汽船をよろしく願いいたします。



2018年6月

代表取締役社長 乾 康之

当期の概況

当連結会計年度における世界経済環境としては、米国では雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の拡大が続き、欧州では設備投資など内需を中心に景気の回復が続きました。中国では当局による金融引き締め等の影響により、成長ペースは緩やかな減速となりました。日本経済においては、企業収益の改善を背景に個人の所得・雇用情勢の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調を維持しています。

このような状況下、当連結会計年度における当社グループの業績におきましては、売上高は20,574百万円、営業利益は826百万円、経常利益は755百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の減少等があり1,820百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績の概況

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、堅調な荷動きを背景に、回復基調を維持しております。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比2,817百万円増収(+31.7%)の11,715百万円、セグメント損益は前年同期から2,631百万円改善し、853百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

国内物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期と概ね同水準で推移し、貨物取扱量は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、新規荷主の獲得効果もありましたが、連結子会社であるイヌイ運送株式会社における引越事業の取扱高の減少等により、売上高は前年同期比245百万円減収(△5.4%)の4,259百万円となりました。セグメント利益は倉庫事業の業務効率化等により、前年同期比29百万円増益の17百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率は低水準で推移しており、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は前年同期を若干上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の安定した高稼働により、売上高は前年同期比112百万円増収(+2.5%)の4,600百万円、セグメント利益は前年同期比270百万円増益(+12.2%)の2,491百万円となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、外航海運事業は緩やかながらもスモールハンディ船の市況回復が継続すると想定し、当期を上回る水準で推移すると見込んでおります。

倉庫・運送事業では内需の縮小や競争激化等により引き続き厳しい状況が続く見込みです。

不動産事業では総じて賃貸市場の回復が見られますが、エリア内競争等もあり、楽観を許さない状況にあります。

次期の業績予想につきましては、売上高は22,106百万円、営業利益は2,069百万円、経常利益は1,890百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は一部倉庫の再開発計画に係る移転補償金等の計上により2,911百万円となる見込みです。

配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、業績に応じた配当を基本としつつ、業績にかかわらず一定水準の配当を安定的に維持する配当政策を行ってまいります。

基本となる考え方は、「良いときは笑い、悪いときにも泣かない」です。

「良いとき」、「悪いとき」の判断基準及び「笑う」と「泣かない」の具体的な検討の指針は以下のとおりです。

判断基準	連結当期純利益	配当目標計算基準
悪い	～500百万円以下	年間6円
基本	500百万円超～1,500百万円以下	連結当期純利益 × 配当性向30%・・・①
良い	1,500百万円超～	(連結当期純利益 - 1,500百万円) × 配当性向50% + ①基本配当

上記を踏まえ当期配当及び次期の配当見込みは以下のとおりです。

単位：百万円

	2017年度実績値	2018年度業績予想値 (2018年5月14日公表値)	差額
売上高	20,574	22,106	+1,532
営業利益	826	2,069	+1,243
経常利益	755	1,890	+1,135
当期純利益	1,820	2,911	+1,091
年間配当金	24円	46円(予想)	+22円
配当性向	32.8%	39.3%(予想)	+6.5%

- ・2017年度配当は旧イヌイ倉庫において過去最高配当
- ・2018年度配当予想は旧イヌイ倉庫、旧乾汽船含めて過去最高配当を更新見込

単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表(要旨)

科目	当連結会計年度 2018年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	15,758
固定資産	33,170
有形固定資産	28,535
無形固定資産	300
投資その他の資産	4,334
資産合計	48,929
(負債の部)	
流動負債	8,156
固定負債	20,891
負債合計	29,048
(純資産の部)	
株主資本	18,822
資本金	2,767
資本剰余金	11,625
利益剰余金	5,630
自己株式	△1,201
その他の包括利益累計額	1,058
その他有価証券評価差額金	607
繰延ヘッジ損益	36
為替換算調整勘定	413
純資産合計	19,880
負債純資産合計	48,929

連結損益計算書(要旨)

科目	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	20,574
売上原価	18,487
売上総利益	2,087
販売費及び一般管理費	1,261
営業利益	826
営業外収益	303
営業外費用	374
経常利益	755
特別利益	104
特別損失	63
税金等調整前当期純利益	796
法人税、住民税及び事業税	△0
法人税等調整額	△1,023
親会社株主に帰属する当期純利益	1,820

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△210
現金及び現金同等物の増減額	△1,760
現金及び現金同等物の期首残高	13,121
現金及び現金同等物の期末残高	11,360

会社概要

会社の概況 (2018年3月31日現在)

資本金	27億6,750万3,820円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従業員数	連結174名、単体67名
主要な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●外航海運事業 船舶の自社運航による貨物輸送、船舶貸渡業 ●倉庫・運送事業 倉庫、荷役、貨物運送 ●不動産事業 施設賃貸

取締役・監査役 (2018年6月22日現在)

代表取締役社長	乾 康之
取締役	乾 隆志
取締役	苦 瀬 博 仁*
取締役	川 崎 清 隆*
取締役	神 林 伸 光*
常勤監査役	加 島 昭 久
監査役	田 中 正 人*
監査役	尾 崎 輝 郎*

(注) *印は社外取締役及び社外監査役であります。

執行体制 (2018年6月22日現在)

社長	乾 康之
専務執行役員	乾 隆志

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
外航海運事業、倉庫・運送事業及び不動産事業を行っております。

主な連結子会社

- DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower, Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有及び貸渡業を行っております。
- イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業(転勤引越、事務所移転)を行っております。
- イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業(入出庫作業・在庫管理業務等)及び配送業務を行っております。

株式情報

株式の状況 (2018年3月31日現在)

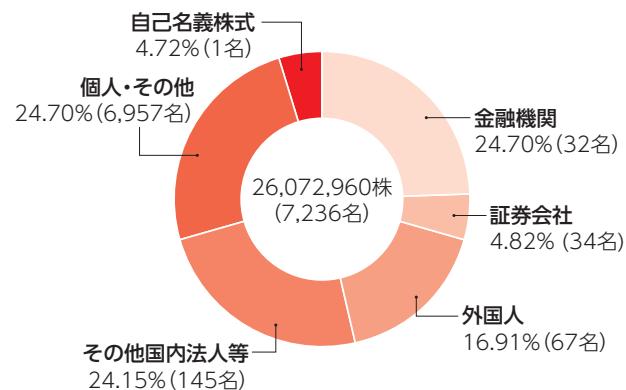
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	24,841,733株 (自己株式1,231,227株を除く)
株主数	7,236名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
インタートラスト トラストーズ ケイマン リミテッド アズ トラステイ オブ ユビキタス ファアンドークラス デイ	2,626	10.57%
東京海上日動火災保険株式会社	1,283	5.17%
立花証券株式会社	1,052	4.24%
松岡冷蔵株式会社	992	4.00%
アルファレオ1号投資事業有限責任組合	985	3.97%
乾 民治	902	3.63%
株式会社三井住友銀行	848	3.41%
乾 英文	698	2.81%
王子ホールディングス株式会社	683	2.75%
HSBC BANK PLC - MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	648	2.61%

(注)持株比率は、当社が保有する自己株式(1,231,227株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、株主の皆様のお役にたてるよう、決算情報をはじめ、決算説明会の模様などの会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.inui.co.jp/>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、 あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社の ホームページに掲載することができない場合は、 日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場
にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律及び当社定款・株式
取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求
制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

乾汽船株式会社

〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp/>

